

平成30年度 宮農柔道部 報告

新校舎での高校生活がスタートし、新しい柔道場で部活動を行っています。平成30年度の新入部員は1年生男子3名、女子1名、マネージャー1名を迎え、3年生 男子3名 2年生 男子2名 女子1名 マネージャー1名 の合計 男子8名 女子4名の新体制で活動しています。月日が流れるのは、早いもので、仮設校舎で入学した生徒は、あっという間に3年生です。地区総体、県総体も終わってしまったので、ここでOBの皆様、地域の方々、保護者の方々、そして宮農への入学を考えている中学生に向けて大会報告をいたします。尚、本校では、ほかの部活も活発に行われていますが、柔道部しか、現在はHPに掲載しておりません。ほかの運動部も頑張っていることをここにお伝えしておきます。

平成30年度地区総体 (H30年 5月19日 於：岩沼市民体育センター)

男子団体戦 1回戦 宮農 0-4 白石

敗者復活1回戦 宮農 4-0 名取

〃 2回戦 宮農 1-3 亙理

団体 第5位

女子団体 合同チーム 1回戦 合同 0-3 柴田

2回戦 合同 0-2 白石

団体 第3位

男子個人 81kg級 男鹿谷凜杜 第3位

100kg級 南條 優介 第3位

100kg超級 蟻坂 桐哉 第3位

顧問講評

男子団体は先鋒次鋒に1年生を起用したが、精神的に大きな負担をかけてしまったことを反省。やはり地区とはいえ、総体はプレッシャーがかかるものだとして改めて痛感した。敗者復活においても、勝てる場面で逆転を許し、経験不足が露呈してしまった。女子団体は木下の意欲が試合によく出ていたと感じる。投げ技を繰り出し、技の効果ありに見える場面はあったが、審判に与える印象が低かったようだ。その点は改善すべきところであろう。

個人戦では、団体戦の疲労が見える選手も多かったが、力と運を發揮し、3名が3位入賞。チームとしてはよく頑張ったと感じる内容であった。



平成30年度 県総体（平成30年6月2日～4日 於：石巻市総合体育館）

男子団体戦は、抽選の結果 宮農・志津川・宮城工業の3チームリーグで対戦となった。本校としてはぜひリーグ1位で、決勝トーナメントへ通過していきたいところだった。しかし、最後の高校総体という意識は選手の動きをガチガチに固めていった。

男子団体予選

宮農（先鋒 山本 次鋒 蟻坂 中堅 吉田 副将 南條 大将 男鹿谷）

対 志津川 戦

先鋒 山本が2階級上の選手に送り襟締めで一本勝ちし、なんとか3対2で勝利。

対 宮城工業 戦

3年生3名が普段の動きができず、2対3で敗退。

志津川が宮城工業に3対2で勝ってしまい、3校が勝率でならんだ。その結果、一本勝ちの多さで志津川がリーグ1位となり、宮城工業と本校が代表戦で順位を決定する運びとなった。

宮城工業 3年 対 宮城農業 1年 南條 小外刈りで南條が一本勝ち

劇的な勝利に思わず涙するチームメイトたち。胸をなでおろす顧問。なんとかリーグ2位で予選通過。

男子団体決勝トーナメント

1回戦 対 塩釜

先鋒次鋒が不戦勝。中堅 吉田にかかるプレッシャーは非常に大きかったが、練習を信じ、背負い投げ技ありで勝利を得た。結果として5対0で勝つことができた。

2回戦 対 柴田（優勝チーム）

先鋒を山本から椎葉に変更し臨んだ2回戦は県新人優勝校の柴田。力の差は大きく、あっという間に0対5で敗れた。県ベスト16

男女個人戦

60kg級 山本 1回戦 一本勝ち

2回戦 敗退

66kg級 伊藤 2回戦 敗退

81kg級 吉田 1回戦 敗退

90kg級 椎葉 1回戦 勝利

2回戦 敗退 ベスト16

男鹿谷 1回戦 一本勝ち

2回戦 敗退 ベスト16

100kg級 南條 1回戦 敗退

100kg超級 蟻坂 1回戦 一本勝ち

2回戦 一本勝ち

準々決勝 敗退 ベスト8

女子78kg級 木下 1回戦 敗退

顧問の講評

くじ運の悪さを憎んでも仕方がないが、個人戦で本校生徒は90kg 椎葉と女子の木下がそれぞれの階級で優勝した選手と対戦し敗退。男鹿谷と蟻坂は準優勝選手との対戦し敗退。そこまでのプロセスが大事だと選手と自分の心に言い聞かせ、選手の健闘を称える。



団体戦 決勝トーナメント1回戦